

# 認定支援機関として中小企業支援に 欠かせないSWOT分析ワークセミナー

■ 講師 久乗 哲先生

■ 日時 令和3年4月7日(水) 13:30~16:00

■ 会場 ホテルモントレ京都 2階ケンジント

滋賀支部 東郷 鐘吾

新型コロナウイルス感染症の蔓延により企業の置かれる環境が激変する中、経営改善計画策定支援事業、早期改善計画策定支援事業(通称 ポストコロナ持続的発展計画事業)に続いて、中小企業等事業再構築促進事業が公表されました。すべての事業の共通点は、認定支援機関の支援を受けて事業計画を策定することです。今回のセミナーは、事業計画策定の入り口として行い、現状分析の方法として、自社の強み・弱み、機会・脅威を認識する「SWOT分析」をワーク形式で体験するというものでした。



最初の約30分程度でSWOT分析の概略を久乗先生よりご説明頂きました。SWOT分析とは、企業の置かれた状況を内部環境と外部環境にわけ、さらに内部環境を「強み(Strength)」、「弱み(Weakness)」、外部環境を「機会(Opportunity)」、「脅威(Threat)」に分類し、企業の置かれた現状を分析する手法であり、さらに将来の経営戦略の策定にも貢献するフレームワークでした。また、SWOT分析を行う際には、視点を広げる必要があり、そのためにはまず外部環境から分析を行う方が良いということも教えて頂きました。また、ジェイB.バーニーの企業戦略論というSWOT分析がまとめられている書籍をご紹介いただき、私も含め、その場で数名がネット購入されていたように思います。

その後出席者45名が5~6名ごとに8つのグループに分かれ、仮定の飲食店を題材にグループごとにディスカッションをしながら、SWOT分析を行い、その結果を発表しました。SWOT分析の題材となる飲食店は、木屋町三条にある腕のいい料理人が経営する赤字の飲食店でした。業績を立て直すべく、グループのメンバーと外部環境と内部環境を挙げていき、SWOT分析を行いました。その中、他のグループからは若者のアルコール離れという外部環境の脅威が多く上がっていましたが、私のいたグループでは挙がりませんでした。中西支部長の滋賀支部の税理士が2名いたことも影響していたと思います。正確な現状分析を行うためには、偏りあってはいけないということを感じました。

最後に、事業再構築補助金の申請において、SWOT分析が求められ、勉強してみようと思っ  
て参加したセミナーでしたが、しっかりと勉強するためには書籍を紹介して頂いたのもありがたかったです。また、具体的な題材をグループのメンバーでディスカッションしながらSWOT分析を行ったことは、今後経営者とディスカッションしながら進めていく際に活かせると思います。久乗先生、ありがとうございました。

